

## 企業向け M3 がん防災プログラムを本格展開 ～ホワイト・ジャック・プロジェクト第3弾:2人に1人が罹患する国民病への対策を加速～

エムスリー株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:谷村 格、URL :<https://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」)は、疾病の発症前の段階から健康状態を維持することを目的とした取り組み「ホワイト・ジャック・プロジェクト」の第3弾として、企業向けの M3 がん防災プログラムを2022年10月より本格的に開始することをお知らせいたします。

### 1. M3 がん防災プログラムが求められる背景

統計によれば、日本人の2人に1人は生涯を通じてがんを罹患<sup>※1</sup>し、3人に1人はがんで亡くなります<sup>※2</sup>。2人に1人はがんに罹患するということは、例えば4人家族のうち誰かががんに罹患する確率は約93%で、ほとんどの人が、自身あるいは家族のがん罹患を経験することになります。このように多くの人が直面するものの、がんという疾患に対する基礎知識の啓発が進んでおらず、治療に向けて取るべきでない行動をとってしまう患者さん・家族が一定数いるため、罹患前に啓発を行う「がん防災」は取り組みを加速させるべき分野と考えています。

このような状況を踏まえ、エムスリーでは、「M3 がん防災プログラム」を提供し、がん対策に関する企業単位での取り組みを積極的に支援する運びとなりました。

「がん対策先進企業」を1社でも増やすことで、1人でも多くの従業員やその家族の健康を守り、ひいては医療費の改善にもつなげることを目的に、プログラムの開発と展開を積極的に行ってまいります。

### 2. M3 がん防災プログラムの主な内容

企業向けの M3 がん防災プログラムは主に下記のような内容で構成されています。また、がんの治療は毎年更新されていきますので、それに応じて内容も順次アップデートしていく予定です。

#### 1 がんに関する基礎知識向上プログラムの提供

「がんとはどういう病気か」「標準治療が最も有効である」「有用性が証明されていない代替医療にだまされないために」など、疾患や治療に関するトレーニングを提供し、いざという時に慌てない知識の基礎を作ります。先行実施した企業で、「88%の従業員が満足」という評価を得た教育プログラムをベースに展開していきます。

#### 2 がん検診受診率の向上

がんの早期発見は生存率に大きな影響を与えるにもかかわらず、多くの企業でがん検診の受診率は、国の目標である50%<sup>※3</sup>に届いていません。がんに対する教育の展開やより積極的な推奨を行い、がん検診未受診の従業員を減らしていきます。また「検診を受けたくても予約がなかなか取れない」という課題にも連携する医療機関ネットワークを整備し、スムーズな受診を実現していく予定です。

#### 3 がん罹患時の一次窓口の設置

がん自身や家族が罹患した際、医療従事者が対応する一次相談窓口を設置します。これは損害保険の事故対応窓口のようなイメージで、検査、診断、治療、病院選択などに関して、がんの知識が豊富な専門家がアドバイスをしながら伴走することで、ショックを受けてパニックに陥りがちな患者さんの初動対応を手厚くサポートします。

#### 4 複数の専門医からセカンドオピニオン提供

がんに罹患してもセカンドオピニオンを取得する人は約 5 人に 1 人※<sup>4</sup>にとどまっており、取得する場合も「1 ヶ月後に 1 人の医師から」のケースがほとんどです。M3 がん防災プログラムでは、エムスリーの医師ネットワークを活用し、2~3 週間以内に 3 人の専門医からのセカンドオピニオンを取得(マルチオピニオン)することが可能です。従業員だけではなく従業員の家族や両親世代対象として、複数の専門医の意見を参考に、よりよい治療選択を支援します。これまでの先行実施においては、利用者の NPS は 78 と非常に高い満足度を実現しています。

#### 5 罹患者の生活や復職支援

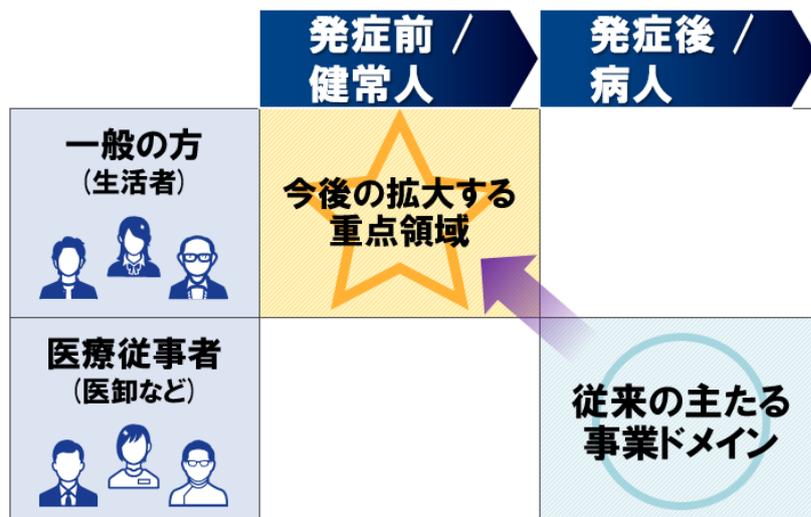
がんの治療が始まると、生活の支援に加えて仕事と治療の両立が重要になってきます。M3 がん防災プログラムでは、がん罹患者に対する生活上のアドバイスや、治療後の職場への復帰などを導入企業の人事と連携しながら専門家が支援します。がん罹患後、会社に相談せずに突然退職する「びっくり退職」なども防ぎ、がん罹患者のよりよい生活の実現を目指します

本プログラムの展開に関し、がん防災を提唱している医師の押川勝太郎氏よりコメントをいただきました。

“『がん防災』とは、がんになったとしても、より良い生活を続けるために、事前の準備により被害を最小にして生活を復興させるという考え方です。いざという時にパニックになったり、慌てて間違った選択をしたりしないよう、がんになる前に正しい知識を得て、備えておくことはとても重要です。このようながん防災の考え方や取り組みが企業にも広がっていくことには意義があり、活動の広がりを期待しています”

エムスリーでは本取り組みを通じて、がんに備える「がん対策先進企業」を 1 社でも多く広げ、1 人でも多くの従業員やその家族の健康を守り、ひいては医療費の低減にもつなげていきます。実際に企業健保で構成される健康保険組合連合会のへ調査では、医療費(医科入院)に占めるがん(新生物)の割合は 19%と最大で、がん防災を実施することによって、医療費が増大する現状の改善も目指してまいります。

#### ■「ホワイト・ジャック・プロジェクト」イメージ



※1 国立がん研究センター がん対策情報センター

※2 厚生労働省 人口動態統計

※3 がん対策推進基本計画において 50%のがん検診受診率、90%の精密検査受診率が目標

※4 国立がん研究センター 2020 年患者体験調査より

### 押川勝太郎氏プロフィール

消化器内科・腫瘍内科医師。抗がん剤治療と緩和療法が専門。1995 年宮崎大学医学部卒。国立がんセンター東病院消化器内視鏡部研修医を経て、2002 年より宮崎大学附属病院第一内科にて消化器がん抗がん剤治療部門を立ち上げる。09 年に NPO 法人宮崎がん共同勉強会設立。YouTube がん防災チャンネルでは毎週日曜日夜に何でも質問できるがん相談飲み会ライブ開催中

一般企業様からのお問い合わせ先(問い合わせフォーム)

<https://forms.gle/azFxDu342PBdoRZ69>